

# きらり館から こんにちは

◆置いてある場所◆野木町役場（入口）、図書館、公民館、ホフマン館  
エニスホール、ホープ館、野木駅など

野木町ボランティア支援センター  
きらり館  
★開館時間 火～土 9:00～17:15  
日・祝 9:00～17:00  
★休館日 月曜日・年末年始  
URL <https://www.town.nogi.lg.jp/>  
メール [kirarikan@pearl.ocn.ne.jp](mailto:kirarikan@pearl.ocn.ne.jp)  
〒329-0101 野木町大字友沼4930-1  
tel 0280-23-1231 fax 0280-23-1232

◇ きらり館登録団体からお知らせ ◇

## 『読書サロン』

～好きな作品について話し合しましょう～

【日時】3月12日（日）13時30分～15時  
【場所】野木町立図書館2階研修室  
【申込】不要 【参加費】無料  
【主催】読書のまちづくり応援団  
【問合せ】松澤Tel.090-7730-1966



## 『地域食堂』

【日時】3月17日（金）17時～19時  
【場所】野木町ボランティア支援センターきらり館  
【提供物】カレーライス（飲み物付）  
【参加費】中学生以下100円 大人300円  
【主催】ほっと♡ステーション  
【問合せ】きらり館 ☎0280-23-1231



## 『気分よく楽しく歩こう』

茨城県百景地 下妻佐沼湖畔を歩く

【日時】3月30日（木）野木駅8時30分集合  
野木駅発8時47分 帰着野木駅15時頃  
【主催】気楽に歩こう会  
【問合せ】斎藤 080-1083-6010  
※今後の詳しい予定は、きらり館 web ページ参照



## 『子育てサロン』

【日時・場所】10時～12時  
3月20日（月）新橋児童館  
3月13日（月）あかつか児童センター  
【主催】子育てサロンボランティアえくぼ  
【問合せ】新橋児童館 ☎0280-57-9155  
あかつか児童センター ☎0280-54-1440



## 令和5年度ボランティア保険のご案内

～ボランティア活動や地域福祉活動中の万が一の事故に備えましょう～

☆詳しい補償内容はパンフレットでご確認ください

### ボランティア活動保険

対象 自発的に無償の活動を行っている方  
補償期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日  
(4月1日以降加入の場合はその翌日から適用) 保険料は社協窓口で支払い

加入プラン ※昨年度から変更はありません

	基本プラン	天災地震 補償プラン	特定感染症 重点プラン
年間保険料	350円	500円	550円
特定感染症	補償開始から10日以内は対象外※		○
地震噴火津波によるケガ	×	○	○

※前年度からの継続で4月1日付加入の場合は初日から補償

【申込受付窓口・問合せ先】野木町社会福祉協議会 Tel.57-3100 受付時間午前8時30分～午後5時15分

◇ きらり館登録団体活動紹介 ◇

## ◆ひまわり館プチコンサートで演奏◆

総合サポートセンター「ひまわり館」で、令和4年9月より「プチコンサート」が毎月開催されています。毎回、満員（定員20名）でとても好評です。2月16日（木）のプチコンサートでは、きらり館に登録している3団体が出演し、心を癒す音色を会場に響かせました。（取材担当 谷津）

## フェアリーベル ハンドベルの演奏

キラキラして重厚感があり、透き通るようにきれいな音色にびっくり



フェアリーベル（代表 平岡みゆきさん）は、2015年に結成され、9人の会員で月2回、町公民館で練習を重ねています。ハンドベル用のオリジナル曲を始めとして、歌謡曲・童謡・世界各国の民謡などレパートリーは豊富です。町立図書館や町内・近隣市町村の施設などでボランティア演奏を行っています。

【本日の演奏曲目】①ウエストミンスターチャイム ②アニーローリー ③ユー・レイズ・ミー ④猫ふんじゃった ⑤見上げてごらん夜の星を

## 二胡を愛する会 二胡の演奏

どこか懐かしく、深みのある情感豊かな音色がこちよい 哀愁の響きにうっとり

二胡を愛する会（代表 小杉邦子さん）は、2007年に結成され、町ボランティア支援センターきらり館で月2回練習を行っています。古河、総和教室と合同コンサートを開いたり、ふるさとホーム野木やホフマン館などの施設などでボランティア演奏行ったりしています。

【本日の演奏曲目】①春の小川 ②童神（わらびがみ） ③山紫水明 ④見上げてごらん夜の星を ⑤蘇州夜曲 ⑥糸 ⑦いのちの歌



## アマリリス オカリナの演奏

幅広い音域を吹き分け 包み込むようなやさしい音色が響き渡る



2つのグループが一緒になり、アマリリス（代表 関根芳子さん）を結成して2年になります。会員は、6名で、町ボランティア支援センターきらり館で月2回木曜日に練習を行っています。歌謡曲・グループサンズ・クラシック・童謡などレパートリーは幅広く、高齢者施設等でボランティア演奏を行っています。

【本日の演奏曲目】①夕陽が泣いている ②サウンド・オブ・サイレンス ③野に咲く花のように ④琵琶湖周航の歌 ⑤雪が降る ⑥また逢う日まで

# いきいき健康支援隊 のぎ健康麻雀教室

# いきいき女性健康クラブ

## 健康マージャンで楽しく脳を活性化

麻雀を通して健康増進、認知症予防並びに各種施設訪問やイベント参加等のボランティア活動、あわせて会員相互の親睦・友好を図る目的で、きらり館に登録されている麻雀関係の団体は3つあります。

- |           |               |            |
|-----------|---------------|------------|
| 平成 27 年結成 | 「いきいき健康支援隊」   | 代表 千葉喜久夫さん |
| 平成 28 年結成 | 「のぎ健康麻雀教室」    | 代表 光城保之さん  |
| 平成 29 年結成 | 「いきいき女性健康クラブ」 | 代表 中村洋子さん  |



光城さんからは、「麻雀は、男性が好む不健康な娯楽というイメージで捉えられがちだが、手や指を使い、頭脳ゲームと言われることから、近年、老化防止、認知症予防での活用が注目されています。談笑しながら楽しめるため、仲間づくりにもつながります。健康麻雀は、(金を)賭けない、(酒を)飲まない、(たばこ)を吸わない、を『3ない』スローガンとして、純粋に楽しむことを目的にしています。」との団体 PR がありました。活動は、きらり館会議室を使用し麻雀講習会等を行い、麻雀の知識向上、ゲームルールの習得・技量アップを目指しています。

## 毎回マージャンを楽しく行うために、いろいろな工夫

- ①当教室は、独自に麻雀ルールブックを作っています。麻雀のゲームルールはローカルルールを含めれば千差万別、会員のルールに対する認識が違うことで言い争うこともありますが、同じルールブックを使うことで少しでも楽しくゲームを出来るよう図っています。また、ルールで不明な点や疑問な点が生じた時は、その都度、全員で話し合っ解決するよう心掛けています。
- ②会員相互の連絡はスマホ LINE を利用しています。麻雀は4人で行うゲーム、4人の参加者が揃わないとゲーム自体成立しません、会員は高齢者なので体調不良や用事で参加出来ないことが、結構あります。その時はスマホ LINE でやり取りし速やかに代替りの参加者を探しています。
- ③申込みの先着順でもってゲーム参加者を決めています。現在、コロナ禍の規制を受けて一度に3卓(12人)までのゲーム参加が認められています。そのため参加出来る会員と参加の出来ない会員が生じるため、各会員の参加回数に偏りが生じないように調整を行っています。

## ボランティア活動にもアクティブに参加

ボランティア活動にもアクティブに参加しています。きらり館で開催された「きらりフェスタ 2022」では、模擬店の部で「ゲームにチャレンジ! いちごこエ体~15 超えたい~」(麻雀牌を 3 枚引いた合計数字が 15 以上になると入賞)を出店して、来訪者のみなさんに、大変喜ばれました。また、きらり館の年末大掃除にも、積極的に参加をしています。(取材担当 谷津)



きらりフェスタ 2022 模擬店

# CADO の縁側 みんなで豚汁をつくらう!

## 空き家活用プロジェクト ぷらっとほうむ CADO

わがまちつながり構築事業の「空き家活用プロジェクト ぷらっとほうむ CADO」が始まって 2 年目になります。野木駅西口から徒歩 4 分の角にある空き家をお借りし、だれでもぷらっと立ち寄れる居場所目指して活動しています。1 月 25 日(日)には、食に関するワークショップ「CADO の縁側 みんなで豚汁をつくらう!」が「ぷらっとほうむ CADO」で行なわれました。このプロジェクトに関わっている方は、煉瓦窯 de マルシェ実行委員会の空き家プロジェクトチームの皆さんです。

## こだわいは『地産地消』 さといもは、CADO の庭で収穫

今回は、地産地消を目指して豚汁の材料を集めました。里芋は、なんと CADO の庭で育てたものです。大根、人参、ゴボウ、シイタケ、赤ネギすべて地元でとれたものです。味噌もスタッフのお手製です。おにぎりで食べるお米は、野木町と小山市でとれたものを用意しました。



庭でとれた里芋



おにぎり作りに挑戦

朝 10 時から料理開始、材料を洗い、切って鍋に入れて煮込みました。ご飯が炊きあがると、今度は、ラップでおにぎり作りです。好みでお塩、韓国のりを巻いて握ります。小さい子は、大人に手つだってもらいながら握りました。熱々の豚汁と握りたてのほかほかおにぎりを、みんなで配膳して、「ふう、ふう」言いながらおいしくいただきました。

今回の参加者の年齢は、4 才から 89 才です。参加者皆さんが一つになって、豚汁とおにぎりを作り、一緒に会食をして触れ合うことができ、ぷらっと立ち寄れる心地よい居場所となりました。(取材担当 谷津)



もうすぐ完成 豚汁なべ



参加者全員で配膳



おいしく会食

### 2月の来館者

★来館者  
来館 432人

★ 2月末現在の登録

団体 83  
個人 36  
災害 48

### スタッフより

### 編集後記

きらり館入り口に掲げてある「野木町ボランティア支援センター きらり館」の木製の看板がリニューアルして、すがすがしい気分です。気持ちも新たに仕事に取り組んでいきます。(谷津)

